



# 野木小だより

平成27年3月24日  
— 第11号 —  
野木町立野木小学校長  
江田裕之

## 6年生に感謝の気持ちを届けました！

2月27日(金)、児童会による「6年生を送る会」を実施しました。1年生は、自分たちで作りに上げたメダルを大事そうに手に取り、6年生の教室へお出向かえをし、花のアーチをくぐって会場へ入りました。心持ち照れくさそうな6年生の表情が印象的でした。最上級生として、下級



生に対して何かをしてあげるといふことに慣れているだけに、下級生から何かをしてもらうことは、やはり照れくささが出てしまうのかもしれない。

児童会の代表委員で話し合って企画したのは、6年生にとって最後となる縦割り班の「なかよし活動」でした。遊びの楽しさを紹介してくれた6年生。下級生が失敗しないように配慮してくれた6年生。いつもと違う仲間で食べたなかよし給食。なかよし活動には、笑顔、歓声、感動、思い出が詰まっていました。その中心にいたのは、もちろん6年生でした。だから、この日は、下級生からのお礼の気持ちが込められていました。〇×クイズ、人間知恵の輪、連想ゲームを実施した後、6年間を振り返るDVDには、一人一人の成長の過程と思い出がぎっしりと詰まっていました。6年生には、なかよし班のメンバーから写真付きのメッセージ色紙が贈られました。6年生からは、運動会で躍動したダンス、町音楽祭で聴衆を魅了した演奏がありました。そして、下級生への激励のメッセージ、教職員には感謝の言葉をいただきました。「ありがとうございましたで溢れる学校にしたい」と朝会で話しましたが、子どもたちは、その約束を見事に果たしてくれました。

## ボランティアの皆様、1年間ありがとうございました！

本校では、多くの教育活動に地域の皆様のご協力やご支援をいただいております。そのため、学校だけではできない活動も可能となり、子どもたちの学習等を充実させることができました。

2月12日(木)は、読み聞かせや授業でお世話になっているボランティアの方々を、2月18日(水)は、ひまわりパトロール



隊として登下校の見守りをさせていただいている方々をお招きし、6年生を中心に「感謝の会」を開きました。多くの皆様にお世話になりながら、一人一人にお礼の気持ちを伝える機会がありませんでした。心より感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願いいたします。

## 栃木県教育委員会から表彰されました！

3月3日(火)付けで、「とちぎ元気キッズ学校奨励賞」受賞の連絡が入りました。朝の活動に「運動の時間」を設定したり、遊びカードを用いて家庭との連携を図ったりして、子どもたちに運動の楽しさを十分に味わわせる取組が評価されました。体育主任を中心に全教職員で計画的に取り組み、子どもたちに新しい遊びを紹介してきました。

児童の代表として、6年生の男子に賞状を手渡し、子どもたちと喜びを分かち合いました。県全体で、野木小を含め16校が受賞しました。



## 卒業式を挙行了しました！

3月19日(木)、多くのご来賓、地域の皆様、保護者に見守られる中、卒業式を挙行いたしました。式場には、在校生が卒業式のために心を込めて育ててくれた色とりどりのパンジーの花が添えられました。今年度は、24名の子どもたちが本校を巣立ちました。卒業生一人一人に、これからの人生を力強く歩んでほしいという思いと感謝の気持ちを込めて卒業証書を手渡しました。昭和24年から卒業証書に番号がつけられ



るようになりましたが、今年度の卒業生を加えて3578人となりました。式辞には、1年間の子どもたちとのかけがえのない思い出やその時々

のエピソードを盛り込み、卒業生全員の氏名が1度は入るようにしました。また、卒業を控えて校長室でグループごとに会食をしながら、中学校生活や将来の夢について話を聞かせてもらいました。家族への感謝の気持ち、かけがえのない



自分を大切にしたいと願う気持ち、社会のために役立ちたいなど、しっかりとした考えを持っていることを紹介しました。卒業生が、行動や態度で

教えてくれたことは、「人は、誰もが素晴らしい力を持っている」「その力は、必ず人の役に立つ」「人のために力を尽くすと応援してくれる」ということでした。できるかできないかではなく、できるようになるために努力することを大事にしてきた卒業生と担任です。卒業生が築いた実



績や伝統は、在校生の心に受け継がれたものと確信します。1年生から5年生までの全員が、式に臨む態度が素晴らしく、卒業生を心から祝福することができました。

## 「野木小のいいな」を見つけました！

「自分っていいなを見つける」をテーマした2学期に引き続き、3学期は1年間のまとめの意味も込め、「学級のいいなを見つける」というテーマで教育活動を展開しました。各学級の良さを友だちとともに確認し、1年間の成長を喜び合い、進級への意欲付けとなることを期待しました。ひまわりの絵の中に、一人一人が自分で考えた



「学級のいいな」を書いて提出してもらい、右のような花束や花かごが出来上がりました。教職員には、「野木小のいいな」を考えてもらいました。教職員から出された本校の子どもたちの良さは、以下のとおりです。



- ・明るいところ
- ・素直なところ
- ・心が優しいところ
- ・笑顔で接してくれる
- ・本をよく読むところ
- ・話をよくしてくれる
- ・健康で欠席が少ない(欠席0の日 88日)
- ・上級生がお手本を示してくれる
- ・がんばり屋
- ・みんな仲よし
- ・授業中の真剣な表情
- ・元気いっぱい外遊びをしていること
- ・個性を発揮し、アイデアがあるところ

修了式に、出来上がったひまわりの作品を紹介し、スライドショーを用いた式辞の中で、今年1年間の各学級の成長の様子を確認しました。

## お知らせ

平成27年度より、本校に「**肢体不自由学級**」が**新設**されることになりました。身体の不自由なお子さんが2名入学します。全校体制で温かな支援をしていこうと思います。学校生活や行事などにおいて、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。